

高齢者虐待の定義に関する研究動向と課題

○日本学術振興会特別研究員 DC、同志社大学大学院 氏名 任 貞美 (8499)

キーワード3つ：高齢者虐待，虐待の定義，虐待定義の課題

1. 研究目的

高齢者虐待の防止，高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（以下，高齢者虐待防止法）が2006年に制定されたがその後も高齢者虐待の判断や介入の難しさは絶えず報告されている（山田2008；萩原2009）。なお，現行の高齢者虐待防止法は虐待の定義が明確にされていないため，虐待内容の範囲が不明であり，研究者ごとに異なる虐待の定義を用いることになった（萩原2009）。また，虐待における共通の定義の未確立は調査結果の相互比較と研究の蓄積，ひいては社会の認識形成を拒む要因ともなる（上村ら2003）。このことから，安定した高齢者虐待への理解や判断を進めるためには，今まで議論されてきた高齢者虐待の定義に関する内容と課題を分析し，高齢者の生活の質や人権向上を目的とする高齢者虐待の定義についての検討が重要になる。高齢者虐待の定義は高齢者虐待の研究において虐待の状況や実態を明らかにするために先行して明らかにすべき必要不可欠な要素であり，したがって高齢者虐待の定義に関する内容と課題を精密に検討することは虐待研究において欠かせない。

そこで本研究の目的は，高齢者虐待の定義に関する文献をレビューし，虐待定義の内容と研究課題を分析することである。本研究を実施することにより①高齢者虐待研究における定義の特徴と課題を明確にすることができ，有効な高齢者虐待の定義の再検討が可能となること，②今後の高齢者虐待研究が進むべき新たな方向性を見出すことが期待できる。

2. 研究の視点および方法

検索方法としては，国立情報学研究所が運営する学術論文や図書・雑誌等の学術情報データベースであるCinii（2014年1月）を用いた。キーワードは，「高齢者」「虐待」「定義」を使用し，AND検索を行った。「虐待」と類似した用語に，「不適切な関わり」「不適切なケア」「不適切な介護」「maltreatment」「mistreatment」がある。したがって，「虐待」の用語の代わりに「不適切なケア」「不適切な介護」「maltreatment」「mistreatment」を用いて検索した結果を追加した。また，それらの引用文献から下記の適格条件に含まれる文献を見出し，追加検討の対象とした。なお，学術論文やレビュー論文を含むすべての文献を調査対象とした。

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の研究倫理指針を遵守し、引用・参考文献を明記した。

4. 研究結果

対象となった28件の虐待定義を引用した文献の内容を検討した結果、最初に高齢者虐待を紹介したのは1987年の金子の老人虐待であるが、虐待の実態や特徴を測定する等の実証的な研究が行われたのは1994年の田中の調査であり、2000年代からは文献数が飛躍的に増加した。しかしながら、「高齢者」「虐待」「定義」をキーワードとして文献検索を行ったにも関わらず、「高齢者虐待とはなにか、高齢者虐待をどのように捉えるべきか」といった虐待の対象や本質に関して述べている研究（大塩1997；武田2010；萩原2009；中村2012）は少なく、実態調査や虐待の発生要因・予防のための支援策等といった問題解決のための取り組みにその関心が集中している傾向がみられた。

また「高齢者虐待の定義についての課題」として、虐待認識の個人差を減らすためのコンセンサス、虐待防止法で対応できない虐待的行為に関する議論、虐待予防の観点から不適切なケアの概念導入、虐待定義の本質に関する議論、日本独自の虐待定義と分類、セルフネグレクトに関する議論、被虐待者と加害者の範囲に関する議論などが挙げられた。

5. 考察

以上の文献レビューにより今後の虐待の定義に関する研究において改善する必要がある課題として以下の5つの点が提案できる。

①概念を明確化し、より現実的な虐待定義を提示するための質的・量的研究の統合、②多様な形態の施設内虐待の事例を含めた定義の検討、③有効かつ実現可能性のある高齢者虐待の定義を作るために、現行の高齢者虐待防止法に位置づけることができない虐待に準ずる人権侵害行為と不適切な介護環境等を取り入れた虐待定義の再検討、④高齢者・介護従事者の視点に基づくケア・生活の水準についての合意、⑤定義構築と関連した研究方法論の検討、の5つである。

萩原清子（2009）「あいまい概念としての『高齢者虐待』とその対応——虐待の定義と虐待判断基準の再構築に向けて」『関東学院大学文学部紀要』117, 131-156.

上村典子・内藤和美・桜井智子・ほか（2003）「日本で行われた高齢者虐待の実態調査研究の検証」『群馬パース学園短期大学紀要』5(1), 117-154.

山田祐子（2008）「高齢者虐待の実態調査から読み取れること」『老年精神医学雑誌』19(12), 1307-1316.

・本研究の一部は「ユニバーサル財団平成25年度研究助成」を受けて行われた。